

## 【日本財団助成事業：進水式とものづくり体験講座の実施】

当会では、日本財団より助成金の交付を受け、次世代を担う子ども達に造船業を通してものづくりの素晴らしさを知ってもらうため、また地域住民の方々には、造船業が地場産業としての重要な産業であることを再確認してもらうために「進水式や造船所の見学会」を行っています。

### 平成 27 年 11 月 25 日（水）内海造船株式会社因島工場・進水式見学会



クレーンの下を通過して船台へ



国旗掲揚の様子、お客様もたくさんいます。



船名「ORION HIGHWAY」が披露されました



進水準備の様子



支綱切断で船首のお酒が割れました！



華やかに進水！



連島南小学校5年2組



同じく5年1組



同じく5年3組



見学後、お世話になった造船所の方にお礼

11月25日(水)、広島県尾道市に所在する「内海造船(株)因島工場」での進水式見学会に、倉敷市教育委員会のご協力を得て、倉敷市立連島南小学校の5年生と引率の先生を合わせて114名招待しました。

倉敷から因島までは約1時間半の長旅となりましたが、途中トイレ休憩を入れながら尾道までたどり着きました。尾道から先はいくつかの島が連なる美しい景色を見ながら、因島に向かいます。因島到着後、造船所まで少しバスを走らせ、到着するとバスを降りて式典のある船台まで徒歩で移動しました。

造船所では今日の進水式を一目見ようと、地元の方から観光ツアーの方まで多くの方が船台に集まり賑わっていました。本日進水する船は、7,450台の車を運ぶことができる「自動車運搬船」で、同造船所ではこのクラスの自動車運搬船を建造するのは初めてだそうです。船の右舷側で見学させていただくこととなり、その迫力を目の前で体験することができ、始まる前から子供たちのワクワクしている様子が伝わってきました。

しばらく待機するとお客様が入場され、進水式が始まりました。花束贈呈、国旗掲揚、命名、進水準備と順に式典が進み“支綱切断”の合図で船首のシャンパンが割れて船が海に向かって進んでいきます。進水するとともに船の上からくすだまが割れ、風船や紙吹雪が華やかに舞い、多くの人々に見守られて無事進水式が終了しました。

因島工場では「ボール進水」という鉄の玉を船の下に敷いて船を滑らす方法で進水式を

行っていますが、とても静かに船が進水していく様子も印象的でした。  
お客様の退出を待った後、連島南小学校の児童たちも紅白幕を背に集合写真を撮らせていただきました。帰る前に造船所で案内していただいた担当者にお礼の挨拶をし、次の目的地に出発しました。

内海造船株式会社因島工場のみなさま、貴重な経験と時間をありがとうございました。

進水した船の詳細は以下のとおりです。

**※ORION HIGHWAY (オリオン ハイウェイ)**

船種：自動車運搬船

全長：約 199.90m

幅：37.50m

深さ：38.23m

総トン数：約 77,000t

載貨重量トン数：12,135t

航海速力：約 20.0 ノット(時速約 37km)